

高崎市長旗争奪熟年野球大会開催要項

趣 旨	熟年者スポーツの振興発展並びに地域社会間の交流と気力・体力の増強を図るため、野球大会を開催する。
主 催	高崎市、西毛熟年野球愛好会
後 援	上毛新聞社、高崎市教育委員会、高崎野球連盟
主 管	西毛熟年野球愛好会
期 日	令和6年10月13日(日)、14日(月スポーツの日)、20日(日)、27日(日) 令和6年11月03日(日)、10日(日)、17日(日)
会 場	高崎市城南野球場・高崎市金古運動広場・高崎市和田橋野球場 高崎市貝沢野球場・高崎市箕郷総合運動公園・吉井運動広場
参加チーム	31チーム
参 加 料	1チーム 26,000円(監督会議当日に納入)
参加資格	1) 昭和50年4月1日以前に生まれた者で、スポーツ傷害保険に加入している事。 2) 県内居住者とし、在住又は在勤場所から出場する事。
参加申込	〒370-0833 高崎市新田町4-2 505 西毛熟年野球愛好会事務局 齋藤 光男
申込締切	令和6年 9月 8日(日)
監督会議	9月15日(日)午後1時30分～ 高崎市城南野球場会議室で開催する。 監督または主将は必ず出席する事。組合せ抽選は監督会議の席上で行う。
競技方法	1) 試合はトーナメント方式で行い回数は7回とし、同点の場合はタイ
競技規則	ブレイクとする。 (無死満塁で4番打者から2回続行する。なお、同点若しくは、制限時間に達した場合は抽選とする。決勝戦は除く) 2) 2024年度公認野球規則及び大会特別規則を適用する。
開 会 式	10月13日(日) 高崎市金古運動広場で午前7時20分より行う。
表 彰	団体は優勝・準優勝・第3位(2チーム) 個人は最優秀選手賞・敢闘賞・首位打者賞を授与する。 優勝チームには優勝旗、準優勝チームには準優勝杯を贈る。 優勝・準優勝・第3位・個人賞にはトロフィー及び賞状を贈る。
そ の 他	1) 雨天の場合は午前6時30分までに態度を決定し、事務局から各チームの連絡責任者へ連絡する。連絡のない限り実施する。 2) 不明な点については、西毛熟年野球愛好会事務局に問い合わせの事。 3) 1回戦での敗退チームは、敗退チームどうしの友好戦(1試合のみ)に参加することが出来る。

令和6年第31回高崎市長旗争奪熟年野球大会細則

- ① 参加チームは、試合開始予定時刻の60分前迄に球場に到着し、本部へ到着した旨を報告してメンバー交換用紙を受け取る事。
- ② 各チームは、第一試合においては試合開始予定時刻の30分前、その他の試合は前の試合の4回終了時主将はメンバー表4通を本部へ持参する事。
- ③ メンバー表提出後到着した選手の扱いは、到着次第監督が球審にその旨を申し出、本部の承認を得た後、その後のゲームに出場することが出来る。
- ④ 試合開始予定時刻を経過しても何等連絡もなくチームが到着しない場合は当該チームを棄権したのとして処理する。
- ⑤ ベンチは組合せ番号の若い方を一塁側とする。
- ⑥ 試合時間は1時間40分以内とし、1時間30分以降は新しいイニングに入らないものとする。
- ⑦ シートノックは行わない。前の試合の5回終了後先発バッテリーによる投球練習を所定の位置で開始してもよい。
※コールドゲームが成立しそうな場合には、次のゲームの先発バッテリーの投球練習を開始できる場合もある。
- ⑧ コールドゲームは、得点差5回以降7点とする。
日没・降雨その他の理由により審判員が試合続行不可能と認めた時で5回を終了している場合は、それまでの得点で勝敗を決する。5回を終了していない時又は同点の場合は特別継続試合とする。
- ⑨ 抗議の出来る者は、監督・主将・当該プレイヤーのみとする。但し、監督不在の場合は事前に本部に連絡し代理監督名を申し出ておく事。
- ⑩ 打者、次打者、走者、コーチャー、捕手は（捕手用ヘルメット）ヘルメットを着用する。また捕手は、プロテクター、レガース、カップを必ず装着する事。
- ⑪ 雨天の場合は、本部より連絡がない限り行う。
- ⑫ バットはJSBB印のある公認された物を使用する事。
- ⑬ 試合終了後、両チームでグラウンド整備を行う。
- ⑭ その他の事項については、全軟連制定の競技運営に関する注意及び連盟取り決め事項により運営する。

☆☆ DH = 10 人制 ☆☆

西毛熟年野球愛好会【特別ルール】とする

【特別ルール】

DH = 10 人制

ア 先発メンバーの中に打撃のみを行う 1 名を加える。

H : で表記する。

イ H : は守備につくことは出来ない。

ウ H : の打順に制限はないがその打順に入った選手は、試合終了
迄打撃のみを行う。

エ H : に代打、代走を出してもよいが、代打・代走に起用された
選手も守備につくことは出来ない。

オ 相手が 9 名でも DH 制を採用できる。

カ DH 制を採用したチームが 10 名の場合、1 名が負傷した時は H が
負傷者に代わり守備につくことが出来る。